

令和 2 年浦安市教育委員会第 2 回定例会会議録

浦安市教育委員会

令和2年浦安市教育委員会第2回定例会

- I. 日 時 令和2年2月13日(木)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後5時45分
- I. 場 所 市役所4階 災害対策本部室
- I. 進 行 教 育 長 鈴木 忠 吉
- I. 出席委員 教 育 長 職 務 代 理 者 宮 道 力
委 員 宮澤 ミシェル
委 員 舘 里 枝
委 員 吉 野 則 子
- I. 出席説明者 教 育 総 務 部 長 白 石 嘉 雄
教 育 総 務 部 参 事 大 友 隆 司
教 育 総 務 部 次 長 醍 醐 恵 二
教育総務部副参事(教育総務課長) 河 野 良 江
教 育 政 策 課 長 宇田川 知 久
教 育 施 設 課 長 須 賀 真
学 務 課 主 幹 鈴 木 明 美
指 導 課 長 丸 山 恵美子
教育研究センター所長 山 本 典 子
保 健 体 育 安 全 課 長 亀 山 さゆり
生 涯 学 習 部 長 八 田 吉 浩
生 涯 学 習 部 次 長 高 梨 晶 子
生涯学習部副参事(生涯学習課長) 島 崎 浩 一
生 涯 学 習 課 主 幹 斉 藤 恭 一

市民スポーツ課長	望月 勇人
青少年センター所長	小澤 浩一
郷土博物館長	金子 義則
高洲公民館長	小林 順子
中央公民館長	川口 雅之
堀江公民館長	三浦 正志
富岡公民館長	堀木 和久
当代島公民館長	河野 純栄
美浜公民館長	本多 浩美
日の出公民館長	岡本 修司
中央図書館長	加藤 竜治
健康こども部副参事（保育幼稚課課長）	三代川 潤一

I. 傍聴人 2名

I. 案件

第1. 会議録の承認

1. 令和元年浦安市教育委員会第12回定例会会議録の承認について

第2. 教育長からの一般報告

第3. 審議事項

- | | |
|-------|--|
| 議案第1号 | 令和元年度一般会計に係る補正予算について |
| 議案第2号 | 令和2年度一般会計に係る当初予算について |
| 議案第3号 | 浦安市奨学資金貸付条例を廃止する条例の一部を改正する条例の
制定について |
| 議案第4号 | 浦安市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
の制定について |
| 議案第5号 | 契約の締結について（見明川中学校校舎建築改修工事） |
| 議案第6号 | 浦安市教育振興基本計画（案）について |

議案第7号 浦安市学校教育推進計画（案）について

議案第8号 第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画（案）
について

第4. 協議事項

第5. 報告事項

1. 行事開催案内

2. 行事・会議報告

- (1) 令和元年度浦安市成人式開催結果
- (2) 令和元年度第2回臨時社会教育委員会議開催報告
- (3) 令和元年度第22回市民手工芸作品展開催結果
- (4) 第29回東京ベイ浦安シティマラソン実施報告
- (5) NTTコミュニケーションズシャイニングアークス応援バスツアー実施報告
- (6) 「大塚勉写真展 ～浦安に生まれて～ Site 埋立地 1971-2019 生成する場」開催結果報告
- (7) 令和元年度第3回図書館協議会開催報告

3. その他・報告事項

- (1) 教育委員会共催・後援行事一覧
- (2) 専決処分の報告について

第6. その他

開 会 (午後 3 時 00 分)

鈴木教育長 これより令和 2 年浦安市教育委員会第 2 回定例会を始める。
議事に入る前に、案件の追加について委員の皆様にお諮りする。
議事の第 5. 報告事項の 3. その他・報告事項に「専決処分の報告について」を追加することに承認いただけるか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、議事の第 5. 報告事項の 3. その他・報告事項に「専決処分の報告について」を本日の案件に追加する。
それでは、議事に入る。
議事の第 1. 会議録の承認である。
1. 令和元年浦安市教育委員会第 12 回定例会会議録について、承認いただけるか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、令和元年浦安市教育委員会第 12 回定例会会議録は承認された。
なお、会議録の承認に当たり、会議録の署名を館委員にお願いします。
次に、議事の第 2. 教育長からの一般報告に移る。
初めに、1 月 29 日に教育委員研修視察として、日野市の特別支援教育について、日野市発達教育支援センター エールと、日野市立第三小学校のユニバーサルデザインの校内研究を視察した。
日野市では、特殊教育から特別支援教育となった平成 19 年に特別支援教育のあり方を検討し、3 年に一度見直しを図られ、現在第 5 次の計画期間で、長年にわたり研究されている。エールは、教育と福祉が一体となった総合支援として、健康福祉部発達支援課と教育委員会教育部教育

支援課による、総合的な支援を行っている。また、ゼロ歳から18歳までの個別支援計画を日野市で定める市の木であるカシの木に因んだ「かしのきシート」を策定し、未就学児から高校卒業までの個別の支援計画を1本の柱として、子どもたちを支援するという点が大きな特徴である。

また、日野市立第三小学校のユニバーサルデザインの授業では、教科の国語研究を通して、誰にも優しい環境づくりという視点で取り組まれており、特に学習支援において、それぞれの子どもの困り感に対応するため、通常の学級でそれぞれの学力の面で困っている部分を再教育できるよう「リソースルーム」という部屋があり、専任の先生もいた。このリソースルームは日野市独自の取り組みではなく、東京都の事業となる。そして、驚いたことに、小学校には通常の学級担任のほかに、専科教員がおり、それから特別支援学級の担任、専門員、言語指導や、スクールサポータースタッフもいる。クラスの学級支援の先生や学力に特化した先生、介助員、そして、リソースルームには4人の先生がおり、都のカウンセラー、市のカウンセラーがいる。ほかにも校舎を管理する人、工程の遊び場を管理する人がいる。図書室には、図書協力員がいる。巡回心理士がいるというように、浦安市は千葉県内では一番多く非常勤職員を配置しているが、東京都の方針ということもあり、比較にならないぐらいの豊富な人的支援であった。

浦安市では、この1年間、特別支援教育のあり方検討委員会を設置し、現在検討を進めているが、日野市と同じような考え方で進めている。日野市の特別支援教育の取組に対して、非常に徹底されおり、特別支援教育策定委員会も現在、第5次までの計画で、15年間も実施されており、大いに参考になった。

2点目は、令和元年度千葉県市町村連絡協議会主催の第2回教育長・教育委員研修会についてである。1月30日、市原市市民会館で開催され、NPO法人発達わんぱく会の理事長の小田知宏氏による講演があった。小田氏は、発達障害のある子どもがコミュニケーションの力を身につけ、長所を伸ばし、地域の中で自分らしく生きていけるよう、家族・地域・行政のみんなで支援するということを理念に、児童福祉法の児童発達支

援事業として、「こころとことばの教室こっこ」を浦安地区と葛西地区で、小学校入学前までの1歳半からで幼児を対象に展開している。小田氏は「今、世の中にあるものの多くが発達障害の人たちにより作り上げられたものだが、世間で認められている発達障害の人はほんの一握りで、発達障害の子どもを抱えている多くの保護者は育児に悩んでいるという現状から、そのような家庭や子どもに支援をしたい」ということであった。とてもいい話であったと思う。

3点目は、認定こども園・幼稚園の園長面接と、小中学校の校長面接についてである。1月23日には、認定こども園や幼稚園の園長面接を行った。今、本市が抱えている認定こども園と幼稚園は、小規模化が進んでおり、学年毎1クラスであるため、学級担任も1人となっている状況である。そのため、教員同士が切磋琢磨する機会が少なく、教員の指導力の向上が課題だと感じている。また、本市においても、幼稚園教諭・保育職員が不足しており、今のままでは、来年、担任が7人程足りないという状況にあり、非常に苦慮しているということであった。2月10日と12日の2日間をかけて校長面接を行った。各学校とも学校経営では、工夫した取り組みを実践しており、どの学校も丁寧な生徒指導を心がけていると思っている。ただ、どの学校も長時間勤務の職員が複数おり、対策に大変苦慮している。文部科学省が提案している対策案の全てを浦安市で実施しているが、教育総務部次長をトップとして、働き方改革推進検討委員会を立ち上げ検討を進めており、今後、現場の管理職とともに一緒に進めていきたいと考えている。また、もう一つの課題として、どの管理職も保護者対応で苦慮している状況にあり、特に小学校は組織での対応がなかなか難しく、校長先生、教頭先生が苦勞している現状が窺えた。

4点目は、令和元年度浦安市青少年問題協議会についてである。1月28日に青少年問題協議会条例に基づいた令和元年度浦安市青少年問題協議会が開催され、浦安警察署生活安全課から少年非行等の状況を、青少年センターから補導相談状況を、指導課からいじめや不登校の現状とSNS等の利用における諸問題を、そして、こども発達支援センターか

ら児童虐待について、それぞれ報告いただき、委員の意見を伺いたいとの話であった。どの課題も大変重い内容であり、すぐに解決できる問題ではないという認識は共有されたと思っている。

5点目は、2月11日に明海大学で開催された「大学と地域連携の未来」シンポジウムについてである。明海大学は浦安市と秋田県横手市と教育連携をしており、当日、日の出小学校の吉田校長より取り組みについて発表がなされた。

明海大学の浦安市立小学校の英語支援は、入船小、日の出小、明海小、美浜南小への学生による授業支援と放課後に行う子どもたちへの学習支援、また、昨年度から校内研究を英語教育・外国語活動に特化している明海小学校に対し、明海大学教授による授業研究会が行われている。また、生涯学習の分野では、青少年自立支援未来塾の英語教室・数学教室に明海大学の学生5名に参加していただいております、参加した学生からは、もともと教員を目指してはいなかったが、この活動を通じ、将来、教員を目指したいという感想を伺い、相互にメリットがあると感じたところである。今後も小学校の英語については明海大学と一緒に推進していきたいと思っている。

最後に、生涯学習×高齢社会フォーラムと、葛南地方生涯学習振興大会についてである。2月6日、J：COM浦安音楽ホールにおいて、生涯学習×高齢社会フォーラムが開催され、第1部が「高齢者が創る地域社会の実現に向けて」という演題で、東京都健康長寿医療センターの倉岡先生に講演いただいた。第2部は「学びを通じた共生社会の実現に向けて」をテーマに浦安思い出語りの会、浦安介護予防アカデミア、社会福祉協議会・認知症地域支援推進員の3名の方の発表とパネルディスカッションが行われた。ボランティアが自立を維持していくこと、そして、趣味であっても外出し、参加することが、健康の維持機能が伸び、社会的資源につながることや、個人と個人を線で結ぶことでグループとなり、それが地域の活動につながり、また、信頼を得ることで、さらに活動が広がるという、生涯学習と福祉のネットワークがもたらす量と質が、さらに多世代で強化するという話は大変参考になった。

また、県が主催で2月9日に開催された生涯学習振興大会では、早稲田大学名誉教授で早稲田大学マニフェスト研究所顧問の北川正恭先生より「令和時代の地方自治と市民活動について」という講演がなされた。北川先生は、三重県議会議員を3期後、衆議院議員を4期、その後三重県知事を2期務められた方で、長い間、知事の職に居続けることはいけないという考えから、自ら辞職されたそうである。一言居士のある方で、話がとても面白かった。2部は事例発表で、習志野市民カレッジの卒業生の方と、八千代市の新川の土手に1,000本の桜を植えた活動実践と、みらいスマイルコミュニティーズの発表がなされた。

この1カ月は、生涯学習と特別支援教育について携わる機会が多く、とても新鮮であった。また、これを学校教育と結びつけていきたいと感じた次第である。

以上、教育長からの一般報告とさせていただきます。

次に、議事に入る前に、あらかじめお諮りする。

議事の第3. 審議事項 議案第1号から第5号及び議事の第5. 報告事項 3. その他・報告事項(2)については、浦安市教育委員会会議規則第20条ただし書の規定により、非公開として取り扱うことよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 それでは、議事の第3. 審議事項 議案第1号から第5号及び議事の第5. 報告事項 3. その他・報告事項(2)については、議事の第6. その他の後、非公開で審議することとする。

それでは、次に議事の第3. 審議事項に移る。

議案第6号 浦安市教育振興基本計画(案)について、議案第7号 浦安市学校教育推進計画(案)について、議案第8号 第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画(案)についてを議題とする。

議案第6号から議案第8号まで一括して説明を求める。

議案第6号 浦安市教育振興基本計画（案）について、議案第7号 浦安市学校教育推進計画（案）について、白石教育総務部長、宇田川教育政策課長より説明がなされた。

議案第8号 第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画（案）について、八田生涯学習部長、島崎生涯学習課長、望月市民スポーツ課長より説明がなされた。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第6号から議案第8号について、質疑を行う。

浦安市教育振興基本計画と部門別として、学校教育部門と、生涯学習、生涯スポーツの3つの計画としている。

委員 非常によくまとめていただいていると思う。これを一丸となって推進していくことで、5年後、10年後には、より良いまちになっていくと感じた。

学校教育推進計画（案）の6ページに、障がいのある子どもの発達と成長の支援については、満足度と重要度の乖離が大きくなっているとあるが、すべての人が、それぞれの個性を生かし、共生していけるようなまちにしていくことが重要だと改めて認識した。

委員 教育振興基本計画と学校教育推進計画は、教育委員であった西脇保幸先生が入られていたこともあり、漏れのない正確さを感じさせるものだと思う。

生涯スポーツ推進計画にある「『ささえる』スポーツ」については、何を「ささえる」のかと思い、よく読み込むと「子どもたちのスポーツを支える」ことであると理解したが、浦安市内のトップリーグの方たちをファンクラブのように、そのチームを支えるという意味の「ささえる」とも受け取れるため、できれば、【「みる」「ささえる」スポーツ】よりも、【「する」「ささえる」スポーツ】の方が適切なのではないかと思う。例えば、子どもを指導するというのであれば、指導される方々

に支えていただく必要があると思うが、敢えてここに「ささえる」を入れたのかを教えていただきたい。

望月市民スポーツ課長 「する」「みる」「ささえる」の3本の柱は、国のスポーツ庁のガイドラインに基づき、記述しているところである。

委員 「する」と「行う」とあり、紛らわしいと思う。補足説明があるので、理解できるが、初めて読む人はなかなか理解できないと思う。

鈴木教育長 今、部活動のあり方検討委員会を行っているが、生涯スポーツ推進計画を読むと、社会体育とのつながりの部分を書き込まれていない。私個人の意見としては、学校体育の部活動を全くなくして、社会体育に移行するという考えはないが、社会体育と学校部活動の連携については、記載したほうがよかったのではないかと思った。

今後、施策の中で具体的に動いていくが、小学校のミニバスケットについては、バスケットボール協会がアンダー12やアンダー15をつくるなどの流れもできている。また、総合型地域スポーツクラブでも少しずつ幅が広がってきているため、この施策の中に入れていけたらよいと思っている。

学校教育推進計画と生涯学習推進計画には、「自ら学び 学校教育」や「自ら学び 生涯学習」となっているが、生涯スポーツ推進計画にはそれがない。スポーツも学んでいるので、冒頭に「自ら学び」を入れてもよいと感じた。

ほかにないか。よろしいか。

それでは、議案ごとに採決を行う。

議案第6号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、議案第6号 浦安市教育振興基本計画（案）については承認された。

続いて、議案第7号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

（「はい」の声あり）

鈴木教育長 異議がないので議案第7号 浦安市学校教育推進計画（案）については承認された。

続いて、議案第8号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

（「はい」の声あり）

鈴木教育長 異議がないので議案第8号「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画（案）」については承認された。

次に、議事の第4．協議事項に移るが、本日、協議事項の上程はない。

次に、議事の第5．報告事項に移る。

1．行事開催案内については、本日、行事開催案内の上程はない。

次に、2．行事・会議報告に移る。

報告事項の(1)から(3)及び(6)から(7)については、事前にお配りした資料をもって報告とさせていただきます。

報告事項の(4)から(5)について、事務局からの説明を求める。

(4) 第29回東京ベイ浦安シティマラソン実施報告、(5) NTTコミュニケーションズシャイニングアークス応援バスツアー実施報告について、望月市民スポーツ課長より説明がなされた。

鈴木教育長 行事・会議報告7件に対する質問を受け付ける。

NTT コミュニケーションズシャイニングアークス応援バスツアーの今

後の課題として、もっと回数を増やしてほしいという要望や開始 30 分で定員が埋まってしまったため、次は抽選などがあるが、参加費用はどうなっているのか。

望月市民スポーツ課長 参加費用は 1,000 円で、バス代、入場料込となり、タオルがついている。

委 員 成人式の結果・課題として、昨年度の実行委員に運営協力員として業務に協力してもらったことができたとあり、実行委員が、まちづくりに参加し、次につながる場があることは、とても良いと思う。

鈴木教育長 事務局が昨年度の実行委員に要請したのか。

島崎生涯学習課長 今年には 7 名の方に協力いただいたが、その前年から実行委員の方に来年お手伝いだけないかと打診していた。先輩がお手伝いする様子を見て、自分達も手伝いたいという声が大きくなっている。

鈴木教育長 お手伝いしていた方に入場券の手配をしているのか

島崎生涯学習課長 場外のお手伝いとなるため、パークの中には入らないが、式典が終わった後に入場できるよう配慮している。

委 員 私の娘も今年、成人式を迎え、非常に良い式で、大変うれしく思った。
別件になるが、社会教育委員会議報告に学校のニーズに合わせた人材を探すための手段について記載があるが、PTAを活用し、人材を把握すると、生涯教育が循環すると思う。

鈴木教育長 ほかにないか。よろしいか。

次に、3. その他・報告事項に移る。

報告事項の(1)については、事前にお配りした資料をもって報告とさせ

ていただく。

ただいま報告がなされた、その他・報告事項1件に対する質問を受け付ける。

何もないか。よろしいか。

次に、議事の第6.その他に入るが、本日はその他事項の上程はない。

各委員から何かあれば発言をお願いしたい。

委員 まず、舞浜認定こども園の訪問についてだが、子どもたちが落ちついた様子で園で過ごしており、少し大人し過ぎるように思っていたが、ダンスの時間になると、大きな歓声が上がり、子どもらしい元気な様子を見ることができ、安心した。少し気になる子どももいたが、その子のことをずっと気にかけている園児もおり、良い人間関係をつくっていると思った。

次に、1月16日の市町村教育委員研究協議会についてだが、前半の基調講演は、新しく教育委員になられた方に向けた概略的な話为中心で、内容は、新しい時代の初等中等教育のあり方やいじめについて、コミュニティスクール、働き方改革、情報化などとなり、初等教育では教師を支援するツールとしてICTの環境を進めていくこと、また、デジタル教科書についても小学校は令和6年度、中学校は令和7年度からを見据え、令和元年度内を目途に方向性を示すという話であった。都道府県別にICTの導入状況が示されたが、千葉県はあまり良い状況ではなかった。後半の分科会は、「各教育委員会の特色ある教育活動等について」がテーマで、私から浦安市の特色として、スクールライフカウンセラーの配置やSNSカレンダーの作成などについて話をさせていただいた。、他市の教育委員からスクールライフカウンセラーについて、どういう人がなれるのかという質問があり、心理学を専攻されている学部あるいは院を卒業されていて、1年以上の心理を仕事としている経験がないといけないと回答させていただいた。他市町村からは、土曜日に学力の低い子どもたちに向けたサポートスクールの実施や、防衛省の予算で早くエアコンが設置されている地域、また、少人数学級など本市と同様の取り

組みがなされていたが、実施方法などを伺い、このような方法もあるのかという発見もあり、面白かった。地域それぞれに様々な課題があり、子どもの貧困が大きな問題になっていたり、過疎化が進んでいる地域では、学校の統廃合について話されている方もいた。浦安の場合は、子どもが減っているエリアと、増えているエリアがあることが課題になっており、統廃合ひとつでも、地域により様々な背景があることが分かった。この分科会では、参加した教育委員よりも文部科学省の方々が地域課題などの情報が得られた機会であったように思う。

次に、1月29日の日野市の視察についてだが、日野第三小学校は視察を前提とした授業であったため、普段の授業のなかで、支援を必要としている子どもたちと、どのようなかかわり方をしているのかを見てみたかった。

1月30日の千葉県市町村教育委員会連絡協議会の研修会では、浦安市を中心に活動されている発達わんぱく会の小田理事長の講演では、週に1回、45分ほどの授業展開で効果が上がっているようなので、具体的な内容やどのように子どもたちとかかわっているのかを知りたかった。浦安の方なので、またお話できる機会があると思うので、楽しみにしている。

委員 高州小学校への訪問で、印象に残ったのは、小学校4年生の国語の授業で国語辞典に貼られた附箋の量が多く、この時期から調べる習慣を身につける活動は、非常に素晴らしいと思う。

日野市では、ユニバーサルデザインの授業づくりを視察し、現場の先生方がユニバーサルデザインを念頭に置きながら授業づくりができるような形に定着していくことができるとよいと感じた。本当にチーム学校として、様々な方が学校に入って取り組まれていたことは想像以上であった。

2月10日に行われた浦安市教職員県外派遣研修生報告会では、4名の先生方がそれぞれのテーマを持ち、1週間の研修に参加され、素晴らしい発表をされていた。この4名の先生方が学んできたものをこれからど

う生かしていけるかが、非常に重要だと思う。そういう意味では、学んできたことをぜひ継続して取り組んでいただきたいと思います。これから先生方が現場でそれぞれ課題を感じると思うが、何か1つでもいいのでテーマを持ち、継続し、仲間をつくり、研究会などを立ち上げ、大学の教員など詳しい人を呼び、それに周りが加わるなど、現場の最前線にいる方々のモチベーションを上げていくような形が理想的であると思う。

また、葛南地方生涯学習振興大会では、北川先生の話が非常に面白く、来場者を前に、あなたたち以外のここに来ていない人たちを来年この場に連れて来ないといけないというのは、本当に共感した。非常にいい話を聞かせていただいた。

委員 日野市への視察で、エールを見学させていただいたときに、周りにいろんな施設があり、施設周辺で手続きを完結することができ、とても良い環境だと思った。

また、子どもたちにとってエールは、自分が今足りないものを向上させるための設備も整っていて、そこに預けている何人かの保護者の表情を見ると、非常に明るく、自然に居場所になっているようであった。

日野第三小学校のユニバーサルデザインの授業は、用意された授業であったため、コミュニケーションも子どもたち同士でディスカッションさせたり、相手の意見をしっかり聞いたり、発表させたり、立ったり、座らせたりという動きがあり、授業のつくり方は上手であったと思う。

県外研修報告では、外で学ぶということが、先生の刺激になるということがよくわかり、それをさらに自分や園児、児童に生かしたり、生徒に生かしたり、学校に生かしたすることにつながるため、ぜひ継続的に実施し、研修に参加できる人数を増やしていただきたいと思います。

委員 成人式は、天候もよく、和気あいあいとしていてよかったと思う。浦安に住みたいと思う若い人が増えるような気がする。来年も天気がよければいいと思う。

また、生涯学習×高齢社会フォーラムは、大変盛況で、たくさんの来場者がいて、すごい集客力だと思った。新町には、現役リタイヤした世代がとても多いと思うが、特に男性は、退職後の横のつながりが、女性よりも稀薄であるため、ぜひ、そのような男性を地域に引っ張ってあげることが必要だと思う。今回、パネリストになられた男性の方はすごく喜々として話され、とてもうれしそうであった。あの方たちは、これから30年は元気で、20年は活動ができる方たちだと思う。ぜひ、思い出を語るだけではなく、前向きに何か社会に語りかけるなど話し合う会にしていだけたらよいと思う。Uセンターもあんなにも多くの人が来ていると思わなかった。近所の方もUセンターに行っている人が多く、良い施設だと思う。私は知らなかったが、浦安には認知症カフェもたくさんあり、この認知症カフェを通じて、要介護も要支援も減っていくという話であったため、もし認知症カフェを行いたいという団体がいたら、支援してもよいと思う。

鈴木教育長　生涯学習はとても分野が広く、今回は非常に良いコラボだと思う。もし「健康」をテーマにしたら、スポーツや医療的な分野も入る。生涯学習だけではなく、何かとコラボすることで、つながりが出てくる。すごくいい試みだと思う。

それでは、これより教育委員会 会議規則第20条ただし書きの規定により、非公開と決定した案件について、審議を行う。

案件は、議事の第3. 審議事項 議案第1号から第5号及び議事の第5. 報告事項、3. その他・報告事項(2)である。

なお、浦安市教育委員会会議規則第22条の規定により、保育幼稚園課長が入室する。

傍聴人の皆様も退室いただくようお願いする。

非公開案件の審議に入る前に、暫時休憩とする。

(休 憩 5分)

鈴木教育長　それでは、これより教育委員会 会議規則第 20 条ただし書きの規定により、非公開と決定した案件について、審議を行う。

議事の第 3. 審議事項 議案第 1 号から第 5 号及び議事の第 5. 報告事項、3. その他・報告事項(2)については、教育委員会会議規則第 20 条ただし書きの規定により、非公開の取り扱いとしていたが、令和 2 年 2 月 14 日に市長が市議会に議案を提出したため議事録を公開する。

鈴木教育長　それでは、議案第 1 号 令和元年度一般会計に係る補正予算についてを議題とする。

事務局の説明を求める。

議案第 1 号 令和元年度一般会計に係る補正予算について、白石教育総務部長、八田生涯学習部長より説明がなされた。

鈴木教育長　ただいま説明がなされた議案第 1 号について、質疑を行う。

3 ページの非常勤職員等社会保険料の更正減が 2,487 万 5,000 円ということだが、これは何人分となるのか。

河野教育総務課長　非常勤職員の社会保険の対象となる非常勤職員の職員数は、現在、教育委員会全体で非常勤職員 720 名程度を雇用しており、そのうち社会保険加入者は 420 名程となる。当初予算の計上時においては 483 名で予算計上したが、実際には 420 名という非常に少ない人数となったため、今回減額補正をさせていただく。

鈴木教育長　学校教育臨時教員の心身障がい児補助教員経費の更正減は何人分なのか。

鈴木学務課主幹　1 月末までで 113 名を任用しているが、途中の任用者が 7 名、途中退職が 9 名となる。現在、22 名欠員しており、今後、採用の見込みが低い

ことから更正減となる。

鈴木教育長 少人数教育推進教員経費については、何名分となるのか。

鈴木学務課主幹 6名の欠員となる。

鈴木教育長 5ページの幼稚園費の学校教育臨時教員等経費の心身障がい児補助教員経費の更正減と、臨時教員等経費と、認定こども園の保育教員経費の更正減については何人分か。

三代川保育幼稚園課長 心身障がい児補助教員は、当初、採用見込みは22名を見込んでいたが、実際の採用がそれよりも下回ったため、更正減となる。実際の欠員人数は、把握していない。

臨時教員についても当初の見込みが、3歳分の保育教諭として11名、そして、保育教諭の午前的人数は9名、午後が9名で見込んでいたが、それぞれ下回っている。

鈴木教育長 先ほど、私からお話しした一般報告にも幼稚園教諭や保育教諭について、予算を計上して、募集をしても人が集まらないという状況である。

委員 先生方は、募集しても欲しい人数が集まらないようだが、子どもの人数は、歳入で追加しているところをみると、予定していた人数よりも増えているのか。

三代川保育幼稚園課長 子ども・子育て支援交付金で83万5,000円を追加しているが、こちらは給食費の実徴収分が追加したものであるため、実際の対象者や児童数は増えているのではなく、その実費徴収に係る対象者が増えている。

委員 先生を採用する計画を立てたが、採用ができていない状況で、現場はきちんと機能しているのかという不安がある。実際、幼稚園や保育園は、

市内に私立園があるため、そちらに人材が流れているように思うが、そのあたりの分析しているのか。

三代川保育幼稚園課長 幼児教育保育の無償化に伴い、正確な数字はまだ把握していないが、補助対象人数が増えていることから、私立の幼稚園の人数は増えているのではないかと思う。

また、教員不足による影響については、実際の現場で担任等も不足しているため、非常勤職員が対応したり、支援が必要な子どもの補助として、非常勤職員の有資格者を募集しているが、なかなか集まらない状況である。一部の園については、主任教諭がその支援に入り、運営をしている。

鈴木教育長 今回の委員の質問は、学務課の補助教員にも言えることだと思うが、いかがか。

鈴木学務課主幹 校内で協力体制をとり、みんなで支援する形で対応している。1人が欠けることが非常に大きいことと捉えている。

委員 勤務条件によるものかどうかはわからないが、実際に採用できない状態となっている。なかなか特効薬はないのかもしれないが、やはり現場は大変だろうと思う。

委員 給与が高いのではないか。

委員 私も給与が違うから、人材が私学に流れたりしていると推測している。

鈴木教育長 今、委員の発言にあったようになかなか人が集まらない理由として、そもそも人が不足していることもあるし、また、条件が良いところに流れていることもある。条件の良さで言えば、東京都の条件が良いため、浦安の隣の東京に流れてしまっているということがあると思う。

ほかにはないか。よろしいか。

これより、議案第1号の採決を行う。

議案第1号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので議案第1号 令和元年度一般会計に係る補正予算については承認された。

次に、議案第2号に移る。

それでは、議案第2号 令和2年度一般会計に係る当初予算についてを議題とする。

事務局の説明を求める。

議案第2号 令和2年度一般会計に係る当初予算について、白石教育総務部長、八田生涯学習部長より説明がなされた。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第2号について、質疑を行う。

委員 4ページの教育費のネーミングライツ収入407万円があるが、これは具体的には何か。

望月市民スポーツ課長 運動公園総合体育館と野球場と陸上競技場、高洲中央公園少年野球場、明海球技場、中央公園野球場の6施設のネーミングライツ募集を行い、収入を得ていく予定である。

鈴木教育長 現在、音楽ホールがネーミングライツ収入を得ており、今後、市としていろいろな施設で収入を得ていく方針となる。歳出の3ページに新規事業として、情報教育推進事業4,068万円があるが、これは、国・県からの補助は特にないという理解でよいか。

丸山指導課長　この情報教育推進事業については、タブレットの賃貸借ということで、タブレットを4人に1台導入予定で予算計上している。文部科学省の1人1台体制はまだ少し先となり、今回は反映されていない。

鈴木教育長　今後の計画についてはいかがか。

醍醐教育総務部次長　国では1人1台の整備を進めており、交付団体については、3人に1台までは交付税で措置され、その先の整備を補助金で対応するかたちとなる。ただ、浦安市は不交付団体となるため、これから行う4人に1台の整備を自力で整備するのか、それとも、その先の3人に1台以上の整備を補助金で対応できるのかを、調整している状況である。何とか補助金を獲得したい考えているが、まだ未確定であるため、まずは予算を計上させていただき、国から何らかの補助が得られれば、補正予算で修正させていただくことになる。

鈴木教育長　当初の整備には補助金があっても、その後の買い替えやメンテナンスは市で用意することになると思う。

ほかにないか。よろしいか。

これより、議案第2号の採決を行う。

議案第2号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長　異議がないので議案第2号　令和2年度一般会計に係る当初予算については承認された。

次に、議案第3号に移るが、教育総務部長、教育総務部参事、教育総務部次長、生涯学習部長、生涯学習部次長、教育総務課長以外は退室してよい。

なお、教育施設課長、高洲公民館長、美浜公民館長、市民スポーツ課長は、別室にて待機をお願いします。

それでは、議案第3号 浦安市奨学資金貸付条例を廃止する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とする。

事務局の説明を求める。

議案第3号 浦安市奨学資金貸付条例を廃止する条例の一部を改正する条例の制定について、白石教育総務部長より説明がなされた。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第3号について、質疑を行う。

何もないか。よろしいか。

これより、議案第3号の採決を行う。

議案第3号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので議案第3号 浦安市奨学資金貸付条例を廃止する条例の一部を改正する条例の制定については承認された。

次に、議案第4号に移る。

高洲公民館長、美浜公民館長が入室する。

それでは、議案第4号 浦安市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とする。

事務局の説明を求める。

議案第4号 浦安市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、八田生涯学習部長より説明がなされた。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第4号について、質疑を行う。

調理実習室は広くなったが、工芸工作室の広さはそのままなのか。

本多美浜公民館長 工事前の工芸工作室と調理実習室の位置を交換し、もともとの調理実習室の広さが工芸工作室になる。また、工芸工作室の隣にあった3階の給湯室はほとんど使われていない状態であったため、調理実習室に取り込み、調理実習室が広がっている。反対に、工芸工作室は狭くなった。

委員 調理実習室と工芸工作室の使用料の合計が、改正前が620円だったのに対し、改正後が670円になっており、少し値上がっているようだが、いかがか。

鈴木教育長 以前、使用料を1.5倍に値上げをしている。

委員 美浜公民館の使用料はそれが反映されていないということか。

鈴木教育長 そうである。

ほかにないか。よろしいか。

これより、議案第4号の採決を行う。

議案第4号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので議案第4号 浦安市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定については承認された。

次に、議案第5号に移るが、高洲公民館長、美浜公民館長は退出してよい。

教育施設課長が入室する。

それでは、議案第5号 契約の締結について（見明川中学校校舎建築改修工事）を議題とする。

事務局の説明を求める。

議案第5号 契約の締結について（見明川中学校校舎建築改修工事）、白石教育総務部長より説明がなされた。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第5号について、質疑を行う。
 図面番号3の屋上には「見明川中」という文字が入るのか。

須賀教育施設課長 新たに改修していく学校は、屋上にはヘリサインを設置する。

鈴木教育長 今まで、見明川中にはヘリサインはなかったのか。

須賀教育施設課長 改修前にはヘリサインはなかったと思うが、確認する。

鈴木教育長 学校のヘリサインは、見明川中が最初か。

八田生涯学習部長 ヘリサインは、浦安中や堀江中などにも設置されている。

鈴木教育長 屋上のフェンスは、小さくなるのか。

須賀教育施設課長 今のフェンスは、屋上は全てを囲っているが、改修する学校については、全体でなく、階段室の周りだけを囲う形で小さめにフェンスを設置する。屋上にはエアコンの室外機等の設備も多く、配管もあるため、安全確保のために少し範囲を狭くしている。

鈴木教育長 今回、屋上にはソーラーは設置しないのか。

須賀教育施設課長 昨年までの計画では、大規模改修時に太陽光発電の設置を計画していたが、今回は設置しない方向である。

委 員 屋上のフェンスについては、子どもの安全確保の視点から大丈夫か。

暗いニュースを聞くことがあるため、安全面について気になった。

須賀教育施設課長 安全面等問題ないと考え、このような形で今回改修をする。

鈴木教育長 かつては、屋上を使って様々な活動をしていたが、今は、室外機やソーラーなどが設置されているため、ほとんど活用することができない状態である。

須賀教育施設課長 屋上に上がってみたいというクラスものの要望に対応するため、1学級程度、全員が屋上に出ることができるスペースを確保している。

鈴木教育長 小学校では、社会科で屋上に上がって東西南北のまちの様子を見るところという学習がある。

鈴木教育長 照明はLEDとなるのか。

須賀教育施設課長 照明は、全てLED化とする予定である。今回の契約は、建築工事となるため、この工事には含まれていない。

鈴木教育長 これより、議案第5号の採決を行う。
議案第5号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「はい」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので議案第5号 契約の締結について（見明川中学校校舎建築改修工事）は承認された。

それでは、議事の第5. 報告事項に移る。

3. その他報告事項、(2)専決処分報告について、事務局からの説明を求めます。

